

## BMCプログラム 国内学会発表

理学研究科 高分子科学専攻 佐藤研究室 M2 木村智彦

学会名：レオロジー討論会

期間：2006年11月1日～3日

日本レオロジー学会はレオロジー関係では国際的にもよく知られた国内最大の研究集会である。11月1日～3日までの3日間、石川県の金沢大学で日本レオロジー学会の行事の一つであるレオロジー討論会が行われた。

上記の学会にて、口頭発表を1件行った。発表内容は、両親媒性高分子水溶液の粘度挙動をその高分子が形成するミセル構造の面から定量的に議論していくものであり、タイトルは“両親媒性高分子電解質の水溶液中での会合挙動と増粘効果”である。今回の発表は、私にとって初めての学会発表であり、学会発表がどのようなものであるかを知る良い機会になった。また、他大学の研究室の先生方、学生の発表を聴講することができ、良い刺激を受けた。そして、この分野の奥深さ、自分の知識の無さがよく分かった。特に、シミュレーションの分野では新たな概念・考え方が提唱され、非常に興味深かった。さらに、ここで発表するにあたって教官や他研究室の学生とディスカッションしたこと、発表後異分野の様々な先生方から意見をいただいとことは修士論文の作製に大いに生かされ、この経験は非常に有意義なものとなった。

レオロジー討論会参加にあたり御支援いただいたBMCプログラム、その他様々な面でサポートしていただいた佐藤先生に心より感謝いたします。